

平成 24 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	7	老後の生活や低所得者の自立を支える	評価責任者 (基本施策主管課長)	健康福祉部介護高齢福祉課長 清水 健司
生活課題	お年寄りや所得の低い人が安定した生活を送れる		生活課題に対する満足度 H27目標値	26.0 %

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系		基本目標	安心・安全
		政策	必要などきに支えがある安心なまちづくり
①	市民意識調査結果	<p>② 左記結果に対する現状分析・市民との協議結果</p> <p>長引く不況のなかで、現在の生活環境に不安を感じ、将来が心配であるが故に、地域における支え合い体制づくりに期待度が高い。</p> <p>参考   満足度（満足意識） 12.9 %    必要度 90.4 %</p>	
③	基本施策の現状と課題	低所得者層は、高齢者に限ったものではないが、年金のみで生活しているのは高齢者に限られる。医療保険や介護保険料が年金から天引きされ、負担は増大しており、介護状態になれば、さらに負担は大きくなる。	
④	基本施策の意図、今後の展望	高齢者の生活を支えている生産年齢人口が減少し、負担増が求められているなか、年金生活の高齢者の収入は十分といえない。こうした背景のもとでは、在宅介護世帯の負担を緩和する助成制度の充実が必要である。	

⑤ 基本施策指標（総合計画数値目標）

基本施策指標名	単位	過年度実績		評価年度			目標値		指標の説明
		H22	H23	H24	H25	H27			
1 寝たきり高齢者福祉手当受給者数	目標	人	220.0	235.0	250.0	260.0	280.0		
	実績	人	230.0	239.0					
	達成率	%	104.5	101.7					
2 国民健康保険現年度分収納率	目標	%	94.0	93.0	91.8	91.8	91.8		
	実績	%	93.2	93.3					
	達成率	%	99.1	100.3					
	目標								
	実績								
	達成率	%							
	目標								
	実績								
	達成率	%							
	目標								
	実績								
	達成率	%							
	目標								
	実績								
	達成率	%							

⑥ 基本施策構成事務事業の評価

基本施策を構成する事務事業名	担当課	I D	事業名	改善余地の有無	事業費（人件費込、単位：千円）			基本施策貢献順位
					H23 決算額	H24 予算額	H25 所要額	
1 健康福祉部介護高齢福祉課		253	外国人高齢者福祉給付金支給事業	無	1,690	1,680	1,680	3
2 健康福祉部介護高齢福祉課		254	寝たきり高齢者等福祉手当支給事業	有	9,422	8,640	8,928	2
3 健康福祉部保険年金課		303	医療費助成事業(単独分)	無	11,927	11,060	11,060	1
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
（ 以 下 続 紙 ）								
事業費合計					23,039	21,380	21,668	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業（総合計画実施計画の期間内に実施を予定する事業）

事業名	事業主体	事業内容等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	国保収納率は、収納率向上対策の取組みにより、努力されている。一方、寝たきり高齢者福祉手当受給者数は、地域で支えが必要な数である。
2 事業構成の適当性（手段として最適か？）	不安な生活を支援する事業であり、介護等の費用の軽減を実施し、在宅介護に携わることができる。
3 役割分担の妥当性	在宅介護者の経済的負担を緩和し、一定の生活を保つためにも必要な助成制度である。
4 総合評価（今後の方向性、事業の見直しについて等）	寝たきり高齢者等福祉手当支給事業は、一定の所得制限が必要である。